



# 奔別アートプロジェクト

9月22日(土)~10月28日(日)

(土/日/祭日のみ 13 日間の開催)


公開時間 10:00 ~ 17:00 (入場は 16:30 まで)


北海道三笠市にある旧住友奔別炭鉱・選炭施設(石炭積み出しホッパー)をメイン会場にアートの中で炭鉱遺産の価値と記憶を甦らせ、炭鉱の記憶を掘り起こします。

会場：旧住友奔別炭鉱・選炭施設内  
石炭積み出しホッパー

観覧無料

主催：NPO 法人 炭鉱の記憶推進事業団

協賛：公益法人 太陽北海道地域づくり財団 

財団法人文化・芸術による福武地域振興財団  文化芸術による福武地域振興財団

「北海道地域連動アートプロジェクト」/ 北海道地域連動アートプロジェクト実行委員会

# 奔別アートプロジェクト

奔別炭鉱は、明治 35 年に開鉱し、昭和 46 年閉山。ホッパーは石炭を搬出する際に種類分けして積み込む施設です。1960 年に完成した奔別炭鉱のホッパーは長さ 100 メートル、幅 13 メートル、高さ 20 メートルと国内最大級で、内部には石炭貨車の引き込み線もありました。

## ◆ 会期

2012 年 9 月 22 日 (土)  
～ 10 月 28 日 (日)

(土/日/祭日のみの 13 日間の開催)

9/22,23,29,30, 10/7,8,13,14,20,21,27,28

## ◆ オープニングセレモニー

9 月 23 日 14:00~15:00 ◆参加無料

会場: 旧住友奔別炭鉱石炭積み出しホッパー前ひろば

出演: 大黒淳一 (サウンドアーティスト) / キック (カポエラダンサー) / 祭太郎 (口上パフォーマンス) / 茂呂剛伸 (ジャンベ演奏家)

※この日の 12 時～15 時発のガイドツアーはお休みします

## ◆ 受付

会場入口部のセンターハウスにて、会場説明、注意事項の確認を頂き、同意の下、入場して頂きます。毎日開催されますガイドツアー受付も行います。

## ◆ ガイドツアー

10 時から 16 時 30 分までの定時と 30 分の計 14 回実施します。1 回のツアーは 30 分程度。希望者はセンターハウスで申込みください。

※受付を済ませれば、ガイドなしで自由に見学することもできます。

## ◆ 関連催事

【三笠奔別 子ども “炭鉱遺産フットパス&アート”】 8/25 (土)  
炭鉱遺産でまちを学び、アート体験。幾春別のまち歩きと炭鉱遺産見学、アートプロジェクトに向けた作品作り。  
参加費 子ども 100 円 / 定員 小学生 30 名程度 (事前申し込み必要)

【岩見沢市立北真小学校写生会 in 奔別】 9/19 (水)  
総合学習で炭鉱について勉強してきた小学生の写生会。一般参加不可

【全国炭鉱・鉱山関係者サミット】 10/7 (日) 13:00～  
三笠市立博物館 ◆参加費無料  
全国の炭鉱・金属鉱山に関する活動をしている市民が一同に集まります。終了後はバーベキューによる懇親会 (有料) あり。

【ぷらぷらまち歩き「幾春別」】 10/27 (土) 13:00～  
奔別アートプロジェクトセンターハウス集合 ◆参加費無料  
奔別の回りにある炭鉱遺産をゆっくり巡って歩きます。

【セミナー「歯輝齒輝(はきはき)～お口から健康に」】 10/21 (日)  
14:00～15:00 幾春別・中島町集会所 (三笠市幾春別中島町 285 番地)  
札幌市立大学看護学部 村松真澄准教授、  
学生 金谷麻子、富士友香子、窪田彩花、西井温美

【赤平アートプロジェクト「炭鉱(やま)の記憶」】  
10/6(土)、7(日)、8(月・祝)、13(土)、14(日)、20(土)、21(日) 10:00～18:00  
住友赤平炭鉱 元炭鉱浴場他  
“赤平市民と創るアートプロジェクト第 1 弾”として炭鉱遺産や街が舞台にアートプロジェクト。6,7,8 日は 18 時頃から夜の作品点灯を予定。

## ■ NPO 法人 炭鉱の記憶推進事業団

地域固有の宝である「炭鉱の記憶」を手がかりに、空知産炭地域の活性化を目指して活動しています。空知の各地で、地域の外と中の人達の交流を仲介することによって、新しい動きを生み出しています。

お問い合わせ: そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター 0126-24-9901  
岩見沢市 1 条西 4 丁目 3 10:00～18:00(火曜休)

## ◆ 参加アーティスト

【ゲストアーティスト】 敬称略

### 端 聡

1960 年北海道岩見沢市生まれ。美術家、札幌ビエンナーレ・ブレ企画 2011 芸術監督、CAI 現代芸術研究所代表、NPO 法人 S-AIR 理事、2004 年札幌文化奨励賞受賞。

### 澁谷 俊彦

1960 年北海道室蘭市生まれ札幌在住アトリエトライアングル主宰。場との共鳴を求める作品づくりを行う美術家。

### 高橋 喜代史

1974 年妹背牛町出身、札幌在住。1999 年 CAI アートスクール卒業後、NPO 法人 S-AIR 理事に就任。「境界線」をコンセプトに、様々な文化や歴史を混合した作品を制作している。

### 今村 育子

1978 年札幌市出身、在住。日常の中の出来事を幻想的なインスタレーションで光や影、闇を駆使して表現するアーティスト。

### kensyo

札幌出身、在住。札幌を拠点に活動する写真家。女性を主体にした作品が多い。2007 年 FIXMIXMAX! アワードにて優秀賞受賞。

### 富田 哲司

1977 年札幌生まれ。札幌在住。空間演出やコミュニケーションをテーマとした制作を行う、フリーランスのビジュアルアーティスト。

## SARD (札幌地域デザイン研究会)

## 上遠野 敏 (アートプロデューサー)

1955 年生まれ。札幌市立大学デザイン学部教授 2011 年個展「ネ・申・イ・ム・光景」

## 【札幌市立大学】

大学院生: 渡邊俊介、邢曉雪

大学院研究生: 余蕾 / 学部研究生: 倉本祥平

4 年生: 1 年 3 組 (江口亜衣里・内海智美)、oyu (真井実里・松井彩)、松田あかり、  
恐怖の電気パン (山下恵)、前田清也、ワコボコマイ (真井実里・若生大地)  
札幌市立大学美術部 nou me non: カクレボン (小松秀之・山本倫子・若生大地)、  
前川沙綾、ヤマモト (山本美★子・山本倫子)、フニャフニャ (小坂友梨・  
諏訪敦美・山崎美咲・世永千尋)、2m (上田瑞穂・横山咲希)、STU (大塚めぐみ・  
菊池はるか・野上あかね・東出佳子・平中麻美子・二ツ川詩織)

## ◆ 公共交通機関

### 中央バス

岩見沢ターミナルから  
三笠線幾春別町(終点)

### 下車

岩見沢ターミナル  
TEL:0126-22-0761



時刻表 URL: [http://www.chuo-bus.co.jp/city\\_route/course/iwamizawa/](http://www.chuo-bus.co.jp/city_route/course/iwamizawa/)

## ◆ 駐車場

駐車場は会場となる旧住友奔別炭鉱正面入口 駐車料金無料 (道道 116 号を桂沢湖・富良野方面へ走行し、中央バス幾春別町バス停前の信号を左折、突き当り)

※展示会場は足場が悪くなっておりますので、動きやすい格好でお越し下さい。  
※ホッパー以外の場所 (立坑やホッパーの裏など) は、危険につき立ち入り禁止です。